

令和7年度 第3回三鷹市スポーツ推進審議会 会議要旨

開催日	令和7年10月24日（金曜日）	時間	15:30～17:00
会場	三鷹市教育センター3階 第三中研修室 (オンライン併用)	傍聴人数	0人
出席者	助友委員、吉田委員、國澤委員、苔口委員、安中委員、屋敷委員、鈴木委員、高柳委員、相原委員、牛山委員、寺田委員、坂下委員		
欠席者	溝口委員、大鶴委員		
行政	大朝スポーツと文化部長、平山スポーツと文化調整担当部長、市橋スポーツ推進担当課長、福田スポーツ推進課主査、山口スポーツ推進課主事		
内容	<p>1 開会あいさつ（助友会長）</p> <p>2 開会（事務局）</p> <p>(1) 委員出席状況について 委員の出席状況は、委員定数14人のうち12人の出席により、委員の過半数が出席し、定足数に達していることから、本日のスポーツ推進審議会は有効に成立している。</p> <p>(2) 傍聴希望について 市民会議、審議会等の傍聴は、「三鷹市市民会議、審議会等の会議の公開に関する条例」に基づき、原則として公開している。本日は、現時点で2名の傍聴希望者がいるため、条例に基づき入場いただく。</p> <p>(3) 会議録の作成と公開について 三鷹市の市民会議、審議会等では、会議録を要録として作成し、公開している。会議の内容を録音し、会議録の原案を出席委員に確認のうえ、市のホームページと総務部相談・情報課にて公開を行う。</p> <p>3 議題に係る各委員からの意見等</p> <p>(1) 令和6年度決算概要について</p> <p>(2) スポーツを通じた健康都市づくりについて</p> <p>助友委員：「誰でも目的に応じて楽しめるスポーツライフの推進」及び「スポーツを支える人財育成とスポーツを通じた地域の活性化」について、特に働く世代や障がい者の参加者数をどのように増やしていくのか、KPI（Key Performance Indicator：重要業績評価指標）を向上させるための取組について皆様に意見を伺いたい。</p> <p>安中委員：「スポーツイベント・教室等参加者数」について、目標値10万人を目指すにあたり、時間をかけて準備しているスポーツフェスティバルが1日限りなのはもったいないと感じている。連日（土曜・日曜）開催とすることで参加日程の選択肢が増え、参加者数の増加につながるのではないかと。また、障がいのある方と健常者が一緒に参加しやすい競技として車椅子バスケットボール等があるが、三鷹市ゆかりのアスリーの狩野美雪さんも協力関係にあることから、シッティングバレーを実施するのはどうか。車椅子バスケットボールは車椅子の確保などコストや準備面の課題はあるが、</p>		

内 容	<p>シッティングバレーは少ないスペースで短時間に多くの方が楽しめる点で有効だと考える。</p> <p>平山調整担当部長：より多くの方にスポーツフェスティバルに参加してもらいたい思いはあるが、2日間開催するには人員体制の確保が課題となる。現在は終了時間を15時としているが、希望者数や参加見込みが多い場合には、時間延長も含め検討する必要がある。シッティングバレーについては、誰もが気軽に楽しめる点で非常に意義があり、新たな交流が生まれる可能性もあるため、前向きに検討したい。</p> <p>吉田委員：オンラインスポーツ教室について、定員を10名としている理由は何か。</p> <p>平山調整担当部長：講師がリアルタイムで参加者の動きを確認し、適切にアドバイスできる人数として設定している。一画面で10名を超えると、個々の動作確認や指導が難しくなる。オンラインで実施できる教室はニーズが高いため、質を重視して丁寧な運営を行うことが重要であると感じている</p> <p>屋敷委員：トラックスサッカースクール等で知的・発達障がい児者向けの事業を行っているが、三鷹市には特別支援学校がなく、支援学級の人数も限られている。調布市の支援学級の方々とも連携すれば、事業が更に広がるのではないか。保護者からは、募集情報が届きにくく、知らなかったという声が多くあるため、福祉や療育施設と連携して周知の仕方を工夫してほしい。</p> <p>平山調整担当部長：現在は、市内小学校の支援を必要とする学級にチラシを配布している。今後は福祉系関係団体への周知も広げていきたい。調布市との連携については、SUBARU総合スポーツセンターでは調布市民も三鷹市民と同様の料金で個人利用ができるため、事業の参加枠についても検討したい。</p> <p>鈴木委員：スポーツ教室受講生募集のチラシを見ると、キッズダンス（小学生）の時間帯が平日に複数ある。キッズダンス開催時間に、保護者向けのヨガ教室を重ねて実施するのはどうか。保護者は見学する人、帰宅する人、どこかで時間を潰す人など様々であり、空き時間に気軽に参加できるヨガはニーズがあると考え。また、イベント参加者やタッタカくんアプリ利用者の継続状況・年齢等の情報を収集・分析することで、より効果的な対策が可能になると思う。集計には時間がかかるが、重要な視点であると考え。</p> <p>平山調整担当部長：以前、キッズダンスと同時間帯にヨガを実施したことがあったが、保護者の参加は想定ほど多くなかった。現在は、親子で一緒に参加できる事業を検討している。また、各事業参加者の継続状況や分析については、どのような形で実施できるのか今後検討の必要があると感じている。タッタカくんアプリに関する調査も着手できていないため、今回の意見を参考にしたい。</p> <p>助友委員：参加者募集する段階で、データ収集に関する案内も併せて行う必要があるのではないかと感じた。</p> <p>相原委員：働く世代の運動実施率向上は課題が多く、平日は仕事や共働きで時間的余裕が少ない。5分程度の体操、階段利用、帰宅時に歩く際にタッタカくんアプリを使うなど、日常環境の中に運動のきっかけを作ることが重要だと考える。例えば企業と連携し、運動を意識づける仕組みづくりも有効で</p>
-----	--

内 容	<p>はないか。また、子育て世代でも親子参加を望む層と、私のように親一人で運動したい層が一定数いると思うが、そのようなニーズ把握はできているのか。</p> <p>平山調整担当部長：そのようなニーズを明確に把握する機会は少ないが、サッカー事業では親子別参加のプログラムも実施している。本プログラムに参加している保護者は、相原委員と同様に一人で運動を楽しみたいニーズに近いと考えている。</p> <p>相原委員：子ども向けや大人一人でも楽しめるなど多様な間口を設けることが重要である。子どもを預けられる環境整備は難しい面もあるが、それぞれが楽しみやすい環境づくりが必要だと感じた。</p> <p>鈴木委員：月曜9時30分からのワークアウトヨガや火曜のファンクショナルピラティスは、子どもを送った後の保護者が参加していると推測され、先ほどのニーズに合致していると思うが、実際はどうか。</p> <p>平山調整担当部長：現時点では感触レベルでしか把握できていないため、改めて確認したい。</p> <p>助友委員：ニーズが多様化しており、さまざまなプログラムが求められていると感じている。一方で、民間でも様々な事業が実施されていることから、行政としては民間にアクセスできない人たちのために何ができるかという視点が重要だと感じた。</p> <p>國澤委員：多様なスポーツ教室を実施している点は評価できる。地域スポーツクラブではグラウンドゴルフやソフトバレーボールなどを継続的に実施しているため、スポーツ推進課の窓口でも周知してもらえるとありがたい。スポーツは継続が重要であり、「土曜日に来れば何かやっている」「気軽に参加できる」などの環境づくりが望ましい。ボッチャのようにすぐ体験できる種目も有効だと思う。</p> <p>苔口委員：スポーツフェスティバルで広場を担当した際、重度の障がいのある方にラグビー体験やパラバレーを案内したところ、参加してもらえた。モルックにも自走式車椅子の方が複数回来場し、最終的にはメイン競技にも参加された。障がいのある方でも参加しやすい環境づくりが進んできていると感じている。シッティングバレーについては過去に実施した経験があるため、来年度の実施も検討可能だと考えている。</p> <p>坂下委員：「市のスポーツ施設等の利用者数」及び「スポーツイベント・教室等参加者数」がマイナスとなった要因について、工事等による影響なのか要因を伺いたい。また、予算執行について縮減されている点は評価できるが、事業が実施できなかった結果として決算額が少なくなったのか、実情を確認したい。</p> <p>平山調整担当部長：工事等の影響もあり、利用者数が伸びていない。ただ、工事が無かった場合の正確な分析はできていないため、再確認したい。「東京2020大会等レガシー創造事業費」の予算減少については、オリンピック・パラリンピック大会時に予定していたチリとの連携事業が実施できず、約100万円の支出減となった。「心と体の健康都市づくり事業費」は概ね計画通り事業が実施できている。工事・設計関係の事業費については、積算や入札</p>
-----	---

内 容	<p>の結果、減額が生じたものである。</p> <p>寺田委員：スポーツを通じた健康都市づくりについて、スポーツ活動そのものを目的とするのではなく、イベントのチラシやスポーツフェスティバルなどのイベントをきっかけに、どこまで継続的な活動につなげられるかを全体で考える必要がある。官民協働による連携も一つの選択肢であり、市が継続的な活動の土台を作り、きっかけを提供することが重要である。スポーツフェスティバルでは馬のブースを体験したが、チケット配布の待ち時間が長く、その間に他競技を楽しんでもらう工夫を各ブースで行うことが必要だと感じた。</p> <p>(3) デフリンピック関連事業の実施等について</p> <p>苔口委員：私と同じスポーツ推進委員で、手話のボランティアとしてデフリンピックに参加する人がいる。デフリンピックに関する周知については、市の公式Xでポストをするほか、スペースに限りはあるかと思うが三鷹駅前でのポスター掲示や、チラシの配付を行ったらどうか。</p> <p>平山調整担当部長：本日 10 月 24 日にデフリンピックの横断幕を三鷹駅前に掲出したところである。ポスターについては、掲示するスペースが駅前にないため難しい。スペースに余裕がある一部の公共施設では掲示が可能であると考えている。</p> <p>4 報告</p> <p>(1) 事業予定</p> <p>10 月 26 日(日) みたかわんぱくスポーツDAY2025</p> <p>10 月 28 日(火) 第 34 回三鷹市民駅伝大会実行委員会</p> <p>11 月 3 日(月) 公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団設立 30 周年記念式典及び記念公演</p> <p style="padding-left: 40px;">デフリンピックキャラバンカー巡回イベント</p> <p>11 月 8 日(土) 市民歩こう会</p> <p>11 月 16 日(日) デフリンピックバレーボール女子日本代表応援バスツアー</p> <p>11 月 23 日(日) 第 34 回三鷹市民駅伝大会</p> <p>(2) スポーツ推進審議会日程</p> <p>第 4 回 令和 8 年 2 月 13 日 (金) 午後 3 時 30 分</p> <p>5 閉会あいさつ (寺田副会長)</p>
-----	--